

学校番号	3002
------	------

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「新編現代文B」【改訂版】（大修館書店）						
副教材等	「改訂新版 最新国語便覧」（浜島書店） 「新常用漢字必携 パーフェクトクリア」（尚文出版） 「国語必携パーフェクト演習」（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ

いずれの進路を選択しても、ことばを用いたコミュニケーション能力・読解力・思考力を磨くことは、社会を生き抜くために必要なだけでなく、大いなる武器ともなります。

インターネットやスマートフォンの普及により、国際化・グローバル化の速度が飛躍的に早まり、今や子供から老人まで、誰もが一本の指先でいとも簡単に世界と結びつくことができる世の中になりました。進学や会社内の昇進に英語の資格を重視する所が増え、学習指導要領も小学校から英語を学ぶように改められました。しかし、いくら機械の操作や外国語に堪能であろうとも、いや、専門的になればなるほど高度な日本語能力が要求されます。日本語を母語とする者は、その大元の「発想」・「思考」を日本語で行っているのです。国語の能力を磨くことはコンピュータや外国語学習だけでなく、すべての分野で役に立つことは他言を待ちません。さらにフェイクニュース、情報の偏りという問題も起こっており、情報の正誤を見極める判断力が益々必要になっています。

昨年に続き、漢字や語句の小テストも行います。漢字検定3級から2級程度の漢字の力を身につけられるように、テスト本番はもちろん、下調べからやり直しまで真剣に取り組むように望みます。また、毎週国語常識を培う問題演習も行います。

予習としては家庭で必ず本文を読んでから授業に臨む習慣を身につけましょう。何を置いても「読むこと」が大事です。授業の後には内容を振り返り、本文とノートを照らし合わせながら復習してください。

2 学習の到達目標

- ・近代以降の様々な文章を読み、文章の意味や作者の意図、人物の心情などの内容を的確に捉え、自分の意見を持つことができる。
- ・自分の意見を相手に伝え、他人の意見を聞くことで考えを深めることができる。
- ・ものの見方、感じ方、考え方を深め、確固たる人間として生きる力を身につける。
- ・予習として事前に本文を読み授業に臨み、授業後は理解した内容を整理し、理解を深めることができる。
- ・授業で読んだ文章に関することについて自ら調べ、その結果をまとめることができる。
- ・漢字や語句の練習や小テスト、国語常識を培う問題演習などに、積極的に取り組む姿勢を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日本語に興味を持ち、進んで国語力を高めようとする。授業内容に強い関心を示し、積極的に参加しようとする。	教授者や仲間の発言を的確に聞き取り、それに応じて自分の考えを深め、まとめながら、効果的に話したり話し合ったりする。	自分の考えをしっかりとまとめ、相手や目的など場に応じた適切な表現による文章を書くことができる。	文章を的確に読み取ったり、その裏に隠されたものを読み解いたり、視野の広い見方で読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	日本的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	授業の受け方 ノート・提出物等の記述の点検	授業の受け方 発表等の発言の内容の点検	ノート・提出物等の記述の内容の点検 定期考査	授業中の発表、ノート・提出物等の記述の内容の点検 定期考査	授業中の発言、ノート・提出物等の記述の内容の点検 定期考査 小テスト
上に示した観点に基づいて、学習単位ごと・学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。評価は学習内容に応じて、それぞれの観点毎に適切な割合を案分して行います。					

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学 期	随 想 (人の心の機微に触れる)	教材: 「どんな人になりたかったか」「夢を建てる人々」 (筆者の意図や場面での心情をとらえ、人の心のありようを知る。)	○		◎	◎	○	a:興味を持って読んでいる。 c:題材・着眼点の面白さと表現の工夫に気づき、それをわかりやすく説明できる。 d:筆者の主張を的確に理解し、自分の問題として考え深めようとしている。 e:基礎的な語句の意味や用法を理解している。	a:授業の受け方、記述の点検 c:提出物の記述の点検 d:授業中の発表、記述の点検 e:授業中の発言、記述の点検、定期考査
	小 説 (生のかたち)	教材: 「待合室」 「おぼろ月」 (小説の場面展開を的確に捉え、主人公に感情移入して読みを深め、また伏線の効果を理解する)	○	◎		◎	○	a:小説の内容とおもしろさを的確にとらえ、味わうことができている。 b:考えの進め方や、情景・心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 d:作品の主題を的確に掴み、生きるヒントに発展させている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:授業の受け方、記述の点検 b:授業の受け方、発言等 d:授業中の発表、記述の点検 e:授業中の発言、記述の点検、定期考査、小テスト
	評 論 (新しい視点から)	教材: 「和の思想、間の文化」 「殺し文句は永遠に一恋する伊勢物語」 (文章の構成、展開、要旨などを的確にとらえる)	○			◎	○	a:文章の形態や文体、語句など関心を持ち、筆者の意図を読み取ろうとしている。 d:文章の構成を考えて、筆者の視点の面白さに気づき、筆者の主張を理解しようとしている。 e:抽象的な概念を示す語句への理解が進んでいる。	a:授業の受け方、記述の点検 d:授業中の発表、記述の点検 e:授業中の発言、記述の点検、定期考査

2 学期	詩 (心のうた)	教材： 「小諸なる古城の ほとり」 「小景異情」 (詩のリズムや表現 の特色を味わう。作 品に託されたイメ ージを通じて、作者 の心情を考える)	○			◎	○	a： 詩的響きの持つ効果を理 解している。 d： 作者の思いを理解してい る。 e： 詩の形式を理解している。	a：授業の受け方、 記述の点検 d：授業中の発表、 記述の点検 e：授業中の発言、 記述の点検、定 期考查
	小説 (物語の中)	教材： 「ころ」 (小説のおもしろさ を味わい、その主題 と構想とを理解す る。小説を読む楽し さに気づき、日々の 生活の中で読書す る習慣を身につけ る)	○	◎		◎	○	a： 主人公たちの言葉のやり とりを通じて場面展開を理 解し、心理変化を読み取ろう としている。 b：小説のテーマを説明でき る。 d：情景描写や心理描写におけ る表現方法・効果に着目し、 より深い理解に結びつけら れる。 e：正しく理解し、使いこなせ る言葉の数を増やしている。	a：授業の受け方、 記述の点検 b：授業の受け方、 発言等 d：授業中の発表、 記述の点検 e：授業中の発言、 記述の点検、定期 考查
	評論 (現代を生きる)	教材： 「幸せの分量」 「政治の基本は民死守 主義」 〈評論を読んで、そ こに提示された問 題を正確に把握し、 理解するとともに、 自分自身の問題と して考える〉	○			◎	○	a： 論理の展開を体系的に正 確に読み取り、筆者の考え を理解している。 c： 提示された問題に興味を 持ち、筆者の考えに対する 自分の考えを正確に説明で きる。 e： 抽象的な概念を示す語句 への理解が進んでいる。	a：授業の受け方、 記述の点検 c：提出物の記述の 点検 e：授業中の発言、 記述の点検、定期 考查、小テスト
	俳句 (イメージの世界)	教材： 「俳句」 (俳句のリズムや表 現の特色、面白さを 味わう。作品に託さ れたイメージを通 じて、作者の心情を 考える)	○			◎	◎	○	a： 俳句の響きや言葉の組み 合わせの妙、表現の持つ効 果を理解する。 c：自分が受け止めた思いを言 葉で的確に表現している。 d： 作者の思いを情景ととも に理解している。 e： 俳句の歴史や形式を理解 している。

3学期	小説 (虚構と真実)	教材： 「星の王子さま」「鉄道員」 (場面の設定、展開や人物の性格・心理の描写を的確に読み取る。描かれた人物の思考や行動をととして、人間のあり方生き方について考えを深める。)	○	◎			○	a: 物語の流れの中から、登場人物の心理描写に着目して、登場人物の心理変化を読み取り、それを説明する表現の仕方を理解する b: 登場人物の会話や行動から、心理を的確に捉えて、それを正確に説明している。相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを客観化したりして、実りの多い話し合いをしている。 e: 小説の背景の時代を、世相や風俗をふまえて的確に理解している。小説における比喩や象徴的かつ暗示的な表現も理解している。	a: 授業の受け方、記述の点検 b: 授業の受け方、発言等 e: 授業中の発言、記述の点検、定期考査
	随想	教材： 「敬語への自覚、他者への自覚」「家族化するペット」 (自身の経験と関係づけながら筆者の考えの変化を読み解く。「逆説」「比喩」などを多用した、独特な表現方法の効果を理解する。)	○		◎	◎	○	a: 興味を持って読んでいる。 c: 題材・着眼点の面白さと表現の工夫に気づき、それをわかりやすく説明できる。 d: 筆者の主張を的確に理解し、自分の問題として考え深めようとしている。 e: 基礎的な語句の意味や用法を理解している。	a: 授業の受け方、記述の点検 c: 提出物の記述の点検 d: 授業中の発表、記述の点検 e: 授業中の発言、記述の点検、定期考査
	読書と人生	教材： 「現代を読み解く視点、現代に通じる古典」 日本の歩んできた歴史を理解し、現代の問題に視野を広げ、考えを深める。	○			◎	○	a: 文意を読み取り、歴史の流れの中の現代という社会観を身につけている。 d: 筆者の考えを理解した上で自己の考えを組み立て、表現できる。 e: 慣用句、文学作品、比喩を理解している。	a: 授業の受け方、記述の点検 d: 授業中の発表、記述の点検 e: 授業中の発言、記述の点検、定期考査
	言語活動	テーマ： 「ITと未来」	○			◎	○	a: ITメディアの特性を知った上で、その長所と問題点を様々な角度から考察する。 c: ITメディアの特性とその問題点や可能性についての的確に説明できている。 e: 現代における多様なメディアの様式や用語を理解している。	a: 授業の受け方、記述の点検 c: 提出物の記述の点検 e: 授業中の発言、記述の点検、定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。